



## 未来に羽ばたけ卒業生! ー第76回卒業証書授与式挙行ー

3月3日に第76回卒業証書授与式を挙行了しました。本年度もコロナ感染防止のためご来賓をお招きすることはできませんでしたが、八代市教育委員会から稲本健一教育施設課長、本校PTAから丸尾憲遵会長をお迎えし、卒業生保護者と在校生全員が見守る中、厳粛かつ心にしみる卒業式を執り行うことができました。

卒業証書授与では、6名の卒業生一人一人に卒業証書を読みあげました。どの生徒も凛とした表情で証書を受け取ってくれました。返事や礼儀作法の一つ一つにそれぞれの思いが感じられ、義務教育の最後を飾るのにふさわしい態度でした。

校長式辞では、コロナ禍で教育活動が制限されるなか、感染防止を心がけ落ち着いた生活を送り、学級の絆を深め合いながら共に成長してくれたこと、予測困難な時代の中で、『夢の実現に向けて果敢に挑戦すること』、『感謝の心を大切にする』の大切さについて話しました。

続いて八代市教育委員会から「新天地でもやつしるスピリッツ(あいさつ・ききかた・そろえかた)を土台として充実した生活を送ってください」と告示があり、丸尾会長からは「努力によって手に入るものは成功ではなく成長。努力することは決してムダではありません」と祝辞をいただきました。

その後、在校生を代表して、2年生の丸尾うららさんが、「さまざまな場面で私たちが引っ張り、元気と勇気を与えてくださった先輩方、本当にありがとうございました。先輩方が築き上げてこられた日奈久中学校の伝統をより良いものにしていくことを約束します」と送辞を述べました。これに対し卒業生全員が答辞を述べ、一人一人が自分の思いを伝えました。

- ・様々な活動の場面で人前に出る機会が増えたことで、礼儀や言葉遣いを気にかけるようになりました。(浅川)
- ・最上級生として運動会に向けて取り組み、新しいことに挑戦したことは、大きな宝物になりました。(谷口)
- ・運動会では、一人ではできないことでもみんなとアイデアを出し合い協力することで成功することができると思いました。(岩崎)
- ・様々な選択や試練に直面することがあるかもしれませんが、今自分は何ができるのか、何をすべきなのかを考え、行動し、後悔しないように生きていきたいです。(松本)
- ・文化祭で3年間漫才をして、自信をもって取り組むことの大切さとその自信は地道な努力が必要だということを学びました。(西崎)
- ・進路選択では、自分の進路を最後に決めるのは自分であり、決めたことに対する責任が伴うことを学びました。(緒方)

本年度の卒業生は、心優しく個性豊かな生徒たちでした。先輩と後輩の仲が良く、学校中を温かい雰囲気の中で包んでくれました。これからも日奈久を愛し、それぞれの夢に向かって大きく羽ばたいてくれることを期待しています。卒業生の未来に幸多きことを願っております。



送辞



卒業生全員で答辞

## 放課後学習会を行いました

先月21日から毎週1回、放課後学習会を行っています。これは先月実施された学年末テストの結果を踏まえ、5教科の中で基礎・基本が定着に自信がない生徒や希望する生徒を対象にした学習会です。

わずか25分間の短い時間ではありますが、弱点克服ができてきたと思っております。



## 洋式トイレ設置へ

学校のトイレを和式便座から洋式便座に取り替える工事を行っています。これまでほとんどの便座が和式でしたが、八代市教育委員会教育施設課の計らいでトイレの一部を洋式に替える運びとなりました。4月の始業式の日には使用できると思っています。

## この一年を振り返って

コロナ禍の中で始まった令和4年度でしたが、感染防止に努めながら主な学校行事を予定通り実施でき、教育課程も無事修了することができました。本校の教育活動を停滞させることなく着実に進めていくことができましたのも保護者や地域の皆様のご理解とご協力があったと心から感謝申し上げます。

子供たちは、学級や全校での活動を通し、互いの絆を温めながら、思いやりの気持ちを育み、自分を見つめ、自分らしく、学習にスポーツに頑張ることができました。一方で、宿題など家庭での学習に課題があることが分かり、次年度の取り組みに生かしていきたいと思っています。

さて、4月は13名の新入生を迎え、1年生は2年生へ、2年生は最上級生である3年生に進級します。全校生徒32名の出発です。新年度は子供たちの思いをしっかりと受け止めながら、生徒一人一人が主役となる学校、地域の方々から愛され地域の誇りとなる学校を目指していきたいと思っております。次年度もどうぞ宜しくお願い致します。